



丹後峰山の  
こんぴらさん

## 二百年祭奉賛会 奉賛者御芳名板設置

平成二十三年御鎮座二百年祭記念事業にご奉賛を賜りました方々の御芳名を、境内石段下に掲げさせていただきます。  
準備営繕事業を含め金一万円以上の御芳名とし、記念大祭執行の後には山上絵馬舎で永く掲げさせていただきます。



## 「七色の」 厄落としクッキー

二百年祭記念の新たな縁起物「厄落としクッキー」を祈願の上授与させていただきます。



「厄年には七色の物を身につけると厄落としになる」という故事にちなみ、七種類のクッキーで仕上げた「ナナイロ」と丹後ちりめんゆかりのシルクパウダーで作られた「シルク」(季節限定)の二種類をご用意。それぞれに七色の玉を手を持つ「KOMANEKOステッカー」が案内役としてついています。(各五百円)  
このクッキーは峰山共同作業所のふれあい工房さんで製造販売されているものを、特別のご配慮でご協力いただきましたこととなりましたので、丹後グッズグッズにも選定されている大好評のクッキーです。  
厄を除けて幸せになれる上、福祉にも寄与できる特別授与品。厄年の方、ご家族の方さらに幸せになりたい方は是非ご賞味を。

## 奉納御札 竹杖一式 神社責任総代 高田 一 殿

ご本殿参拝用にご奉納賜りました手水舎に備えてありますのでご利用下さい



## 平成二十二年 夏季秋季行事のご案内

七月九日 宵宮祭  
十日 夏季大祭

## 七月二十九日 水無月祭

「茅の輪くぐり」二十八日より  
「人形」受付 祓所参拝  
午後六時より九時まで  
「夜の市」開催  
水無月祭実行委員会奉仕

十月十二日 例祭神輿渡御祭

## 平成二十三年 御鎮坐二百奉大祭 金月比羅神社

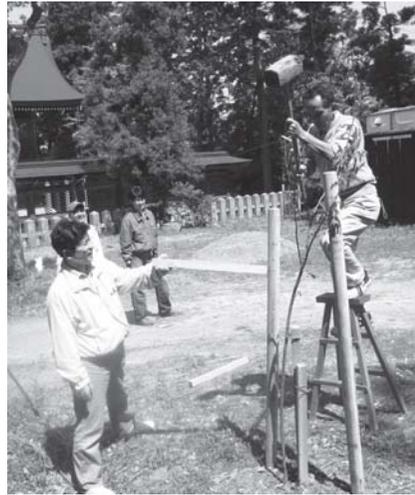
〒610-0001  
京丹後市峰山町泉三六五二  
電話 0777-261025  
FAX 0777-261593

mail info@konpirasan.com  
http://www.konpirasan.com



# 桜植樹と境内美化のご奉仕

地元峰山町第七区市民が奉仕して、境内に桜の植樹をしていただきました。御鎮座二百年を迎えるにあたり、境内が少しでも華やかになるようにと実施され、山上を含め山桜、枝垂れ桜、彼岸桜二十本を植えていただきました。今後育樹を通じて地元区民と神社との結びつきを深めていただくよい機会となりました。



また錦織翁顕彰碑付近では、境内南側と隣接する井隼さんが花壇や草木の植栽などを奉仕していただき、境内の美化にお努めいただいています。「紅葉の頃には一番いい風景を自宅から楽しませてもらっています。仕事の息抜きにはこれがいちばんです。」と、ご自身の趣味の延長で山内の手入れまでお努めいただいています。



## 総代就任のお知らせ

松崎修殿  
(丹後水道備代表取締役)  
金刀比羅神社総代を委嘱します。  
平成二十一年六月一日付

# 記念大祭へ

いよいよ御鎮座二百年祭まで二年という時期になりました。現在、吉村孝道会長の下二百年祭奉賛会において当年へ向けての準備を着々とお勧めいただいているところでございます。

特に只今は峰山町旧町内当社氏子にあたる金刀比羅会会員の皆様を中心に奉賛金の募金活動にご協力いただき、皆様より数多くのご芳志をお寄せいただいておりますことには、誠に有り難く衷心より御礼申し上げます。

さて、現在奉賛会では平成二十三年当年の行事祭事を執行することを事業とし、春季大祭に併せて記念大祭を、秋の例祭には記念神輿渡御祭として山車などの総巡行を計画していただいております。先も見えぬほど厳しい現在の世情のなかで事業の執行には多大な労苦を伴うことと存じますが、二百年祭が町おこしにつながる機会となりますことを願ってやみません。地域に元気がなければ京丹後の活性化にはつながらず、いわゆる田舎に活気がなければ日本全体にも影響があるでしょう。都市圏の影響をうけた柳のような存在ではなく、地方から日本を元気にしていけるような田舎の底力を産み出したいものです。



吹貫 (泉)

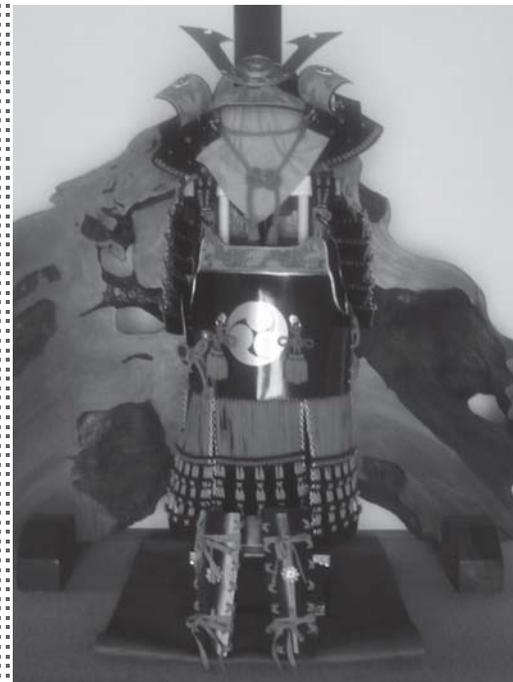


高砂山 (織元)

それには何より「お祭り」を活用すべきだと思います。ご祭神を中心に世代を超えて参加できるノウハウがあり、時には羽目を外すほど盛り上がるのできるのがお祭りです。祭りを盛大に行っている地域にはやはり活力があり、住民の深い絆があります。

## 手作り鎧兜 できました。

「自分の手で甲冑が作れます」亀岡で開催している手作り甲冑教室の新聞記事に興味を持ち、すぐに問い合わせた。亀岡市民対象のところをなんとか頼み込んで参加。半年にわたって通い詰め、とうとう完成しました。なんと素材は全部紙。硬質の紙でできたたたくさんのパーツ毎にセメント材を塗り、塗料で塗装、無数の穴を開けて組紐を通し成形完成です。工程作業は相当なものでしたが、それだけに出来たときの感動も大きいです。迎える二百年祭、せつかくのいい機会なので何かみんなで楽しみたいことができれば、まずはこの輪を広げているいろいろな行事に参加したり神社の神輿行列にもお供できたらと希望をふくらませています。



(脇阪のかり)

全く新しい物ごとを作り出すより、我々の先祖が永く培ってきた財産を活用して新しいことに結びつけていく方がずっと素晴らしいことではないでしょうか。

峰山旧町内には、五基もの屋台が現存しています。屋台の運営には大変な労力と資金が必要ですが、かなり以前から隔年または数年おきに出動するという状況が続いております。

御鎮座記念式年大祭 奉幣祭  
平成二十三年 四月十日(日)  
記念例祭 神輿大巡行  
平成二十三年 十月 八・九・十日  
神輿奉昇巡行 町内屋台総出動

神社絵馬舎に掲げられている明治期の祭礼図(表紙題字背景)では本屋台十基、竹屋台(簡易な芸屋台)九基、吹貫(フキヌキ)十一基もの壮大な行列が神輿に供奉(グループ先導にお供すること)しています。震災で失われていかなかったら全国でも有数の祭礼として名をはせていたに違いありませんが、それでもまだ五基は現存しているのです。

この二度と手に入れることの出来ない貴重な財産を、例年眠らせておくのは如何にも口惜しい。通常執行しております内容が難しければ、巡行方法自体を見直してでも出動できるものか。資金だけに頼るのでなく、英知を出し合って新たな方策を見いだすことも必要かもしれません。

丹後ちりめんを創出し、機械金属を一大産業にまで成した丹後人の英知を今一度結集していただき、田舎の底力を発揮する、京丹後の核峰山で、ここをおいて他では行うことの出来ない事、それが祭礼であって、二百年祭を機会に将来にわたって伝えていければ、峰山人の丹後人の誇りを示すまたとない契機ではないでしょうか。



吹貫 (浪花)



五幸山 (富貴屋)